

===== 目 次 =====

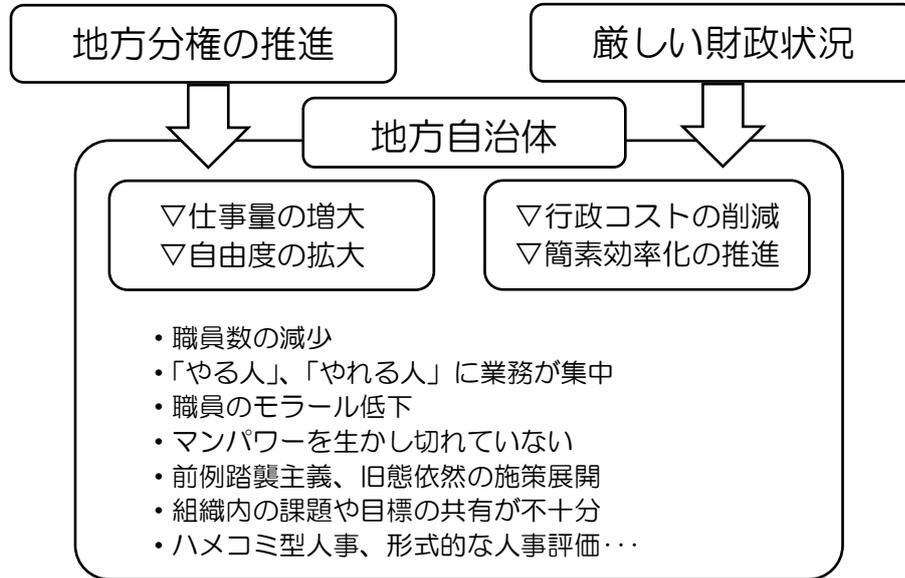
政策提言の要約	1
はじめに	2
第1章 現状	
第1節 地方自治体職員の置かれた状況	2
1 地方分権の推進	
2 厳しい財政状況	
3 職員数の削減	
第2節 地方自治体職員の現状分析	4
～自治大163期研修生アンケート～	
1 職員の能力と適性	
2 キャリア志向と自己啓発	
3 個人と組織の公務能率	
4 人事異動と人材育成	
第3節 現状の分析結果	6
第2章 課題	
第1節 現状から浮かび上がる課題	7
第2節 提言の方向	7
新たな人事異動制度の提案	
第3章 政策提言「キャリア開発プログラム」	7
1 キャリア開発プログラム	
2 人事異動への反映	
3 単位制ジョブ・ローテーション	
おわりに	14

=====

組織活性化につながる人材育成について

～職員がやる気をもって働くために～

現状と課題



目指すべき職員像

- ▽全体の奉仕者として誇りと自覚を持って誠実に職務を遂行する職員
- ▽自ら学び、学習し、成長し、職務に活かす職員
- ▽時代認識をしっかりと持ち、課題解決に積極的に取り組む職員

目指すべき組織像

- ▽職員の能力の最大化
- ▽課題発見、解決力のある組織
- ▽行政ニーズの先取りと多様な施策展開
- ▽成果に対する公正・公平な評価
- ▽適材適所の人員配置

政策の提言

キャリア開発プログラム



高い意識を持った
職員の育成！



“組織の活性化”につながる
ジョブ・ローテーション

～職員がやる気と目標をもって働ける～

- 👉 多くの職員が主体的に行動する
- 👉 組織全体の公務能率が向上する

行政ニーズを捉えた多様な施策展開により
住民サービスが向上する！

